



ぼうさいがくしゅう じっし か すい 防災学習を実施しました 1/18(火)19(水)



三重県の方から2日間、地震体験車2台に来てもらい、全校児童が地震体験をすることができました。普段の避難訓練や机上の学習だけでは感じられない体験を子どもたちはできました。併せて液状化現象の実験等、様々な防災学習も実施することができました。自分の命は自分で守る意識をもつことの重要性も学ぶことができたのではないかと思います。以下、子どもたちの感想です。

- 「震度5強でこれやったら、7だったらどうなるんだろう。動けなくなるだろうと思いました。」
- 「どれだけ揺れるかを知ったから、これからは地震に備えていろいろと準備をしようかと思いました。」
- 「いつ地震が起きても大丈夫なようにしたいです。」
- 「棚が倒れることがはじめてわかりました。」
- 「もし強い地震があっても、自分の命や家族の命を守るためにどうすればいいのか、どう行動すればいいのかを練習や訓練をして、いざという時に命を守れるよう気をつけた。」

だい かいがっこううんえいきょうぎかい 第5回学校運営協議会より 1/14(金)

がっこううんえい ほごしゃ ちいき こえ はんえい がっこううんえいきょうぎかい かいめ おこな
学校運営に保護者、地域の声を反映させるための学校運営協議会の5回目が行われました。
こんかい ほんねんどじっし がっこう けっか きょうしゅくいん じっし がっこうじ こひょうかけっか きょうぎ
今回は本年度実施した学校アンケート結果や教職員が実施した学校自己評価結果について協議
おこな おも しつもん いけん い か とお
を行いました。主な質問や意見は以下の通りです。

- オンライン学習で先生方が感じられたことは？
子どもたちは初めは興味深く取り組んでいたが、後半は少しだれてきた感じ。メリハリをつけたやり方が大事だと思った。また先生たちも最初は戸惑いもあったが、慣れてきてある程度達成感も感じていた。家庭での通信環境の整備が今後さらに必要。
- 苦手な子はいないのか？
タイピング等はまだ難しい子も多いが、他の操作面では子どもたちは覚えが早い。
- 1年生の子はアンケートの数字が高いと思う。この純粋な気持ちを持ち続けてほしい。
- 子どもはほめられたらうれしい。具体的にたくさんほめてやってほしい。ネガティブな表現を使わずに、前向きになれる言葉を使ってほしい。
- 自分の子を親が自らほめる勉強を積極的にすべきだと思う。
- ネガティブな表現をプラスな表現に変える言葉の紹介等を学校から啓発するのはどうか。
- 親は自分の子のいいところを10個さらっと言えるでしょうか。
- アドラー心理学では、親子関係、上下関係ではなく、寄り添うように接することが大事だと勉強したことがある。
- 子どもを褒めるときはびっくりすることが大事だと先輩から教わった。他にも下心なくほめることも大事だと思う。子どもはよく見抜いている。
- 地域の方が挨拶しても不審者だと思われて挨拶が返ってこないことが多い。ジャンパーやタスキ、帽子等を揃えたいが、どこか予算はないか。
- この学校関係者のご意見・評価が来年度の学校運営方針に反映される。委員の皆さんの率直なご意見を書いていただきたいと思います。

せいわしょうがっこう 清和小学校ホームページをご覧ください

さくねんど あたら がっこう ぞん
昨年度から新しくリニューアルした学校ホームページをご存じでしょうか。
がっこう ねんかんぎょうじよてい かくがくねん けいほうはっぴょうじ
「学校だより」はもちろん、「年間行事予定」、「各学年からのニュース」、「警報発表時の
たいおう など さまざま じょうほう し
対応」等、様々な情報をお知らせしていますので、ぜひご覧ください。
けんさく せいわしょうがっこう う で ねが
検索エンジンで「清和小学校」と打てば出てきますので、よろしくお願いいたします。